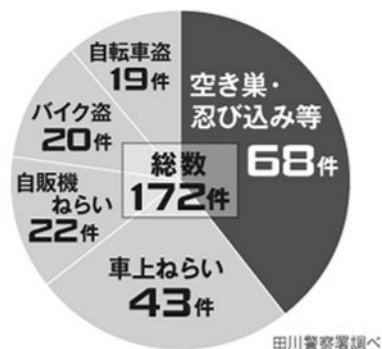


## 福智町の防犯データ

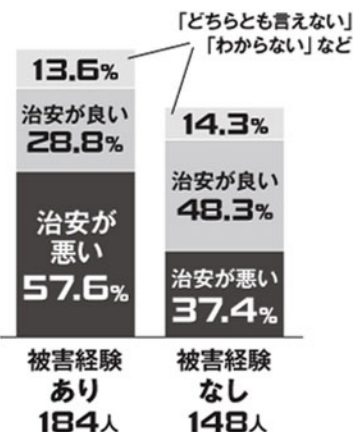
### 1 街頭犯罪発生状況 (平成20年)

平成20年中に、福智町で発生した街頭犯罪の件数。田川警察署管内の市町村では田川市、川崎町に続き3番目に多い状況です。



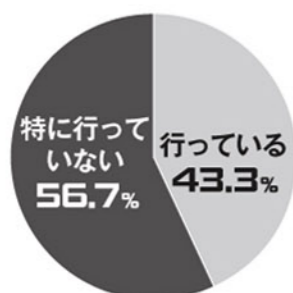
### 2 被害経験と町の治安意識

過去3年間で自分または家族が犯罪の被害にあった「被害経験のある人」と、そうでない人の福智町の治安に対する意識。被害経験がない人は「福智町は安心して暮らせる」と思っている人が多いことが分かります。



### 3 一人ひとりの防犯活動

犯罪被害を防ぐための活動(防犯パトロールや防犯器具の設置、家をあけるときの声をかけるなど)の有無。特に何も防犯活動を行っていない人が、半数以上を占めています。



【参考】福智町地域防犯に関する住民意識調査(H.20)

敵を知る point

### 8分で被害にあう

空き巣犯が犯行にける時間は平均8分といわれています。「隣りに回覧板を渡しに」「ゴミを出しに」といった「ちょっとの間」でも油断は禁物です。



### 次はあなたの家かもしれない

福智町の街頭犯罪の中で、特に件数の多い「空き巣・忍び込み」。昨年は68件が被害にあっています。こういった情報は意外と入ってきます。こうわたしたちはどこか自分とは無縁の話のように感じがち。ですが、実際はいつ自分の家がねらわれてもおかしくない状況だと言えます。「でも何もとられる物なんて無い」というあなた。本当にそう言い切れるでしょうか。現在はネットオークションなど、盗品を簡単にお金に換えられる方法がたくさんあります。とられるものは現金だけとは限らないのです。

## 身近なところに潜む 空き巣犯の影

現状を知る



今年に入って6月末までに、福智町で発生した街頭犯罪の件数は77件。およそ2日に1件は、町のどこかで犯罪が起きているという状況です。

※ 街頭犯罪…車上ねらい、自転車盗、バイク盗、自動販売機ねらい、空き巣・忍び込みなどの身近な犯罪。

### スキのある家がねらわれる

たとえばどこかに行くときに、時間がかかり、危険で、苦勞する道を選ぶ人はまずいけません。それは空き巣犯も同じで、なるべく早く、安全に、ラクに入られる家々を、下見をしながら探しているのです。子どもの送り迎えや近所への買い物などの「ちょっとした間」でも、家のすべてのドアや窓をきちんと施錠していませんか。家にいる間、目の届かない場所の窓を開けっ放しにしていませんか。「少しの間だけだから」「家の中に人がいるから」「防犯装置

↑ 犯人はもうすぐそこまで忍び寄っているかも…

をつけているから」といった「大丈夫」の根拠は、あなたが思っているよりずっと弱いもの。そうして油断したスキを、空き巣犯は確実にねらってきます。そういったねらわれる要素を少しでも減らし、侵入しにくい条件を整えていくことが「防犯戦略」です。ただやみくもに防犯グッズを取り付ければ解決するものでもありません。逆に空き巣犯の視点に立ち、自分の家に侵入するとしたらどこから入るのか、いつがねらいやすいかなどを考えてみると、弱点が見えてくるのではないのでしょうか。被害にあっても後悔しても手遅れです。今からしっかり対策をしておきましょう。

敵を知る point

### 「見目で判断」は危険

「いかにも泥棒」といった姿(→)の空き巣犯などはいません。服装はスーツや作業着など目立たないものが多く、業者を装った場合もあるようです。



※ 次は「被害者の生の声」です。

特集

# 防犯戦略

空き巣被害から我が家を守る

「今月は空き巣の話?」  
 まあ、うちには何もとられる物とか無いし...」  
 そう思った人もいるかもしれません。  
 それがまさにあなたの「防犯意識の低さ」。  
 空き巣犯が確実にねらう条件のひとつです。  
 現実に起こりうるのです。  
 空き巣被害にあつたということとは  
 「運が悪かった」ではありません。  
 犯人が、隣りの家ではなく、  
 その家にねらいを定めた  
 理由が必ずあるのです。  
 「うちだけは大丈夫」なんて  
 あなたは本当に言えますか?

